



月刊税理士事務所チャンネル

# CHANNEL

2018  
**2**  
No.438

シリーズ企画

## 医療法人の最新動向……………6

事務所訪問  
東税理士事務所……………2

ミロク会計人会のミリョク……………5

ご当地自慢  
熊本県・天草下島……………10

九州会企画  
わずか4年で28店舗が出店 油津商店街の再生物語……………13

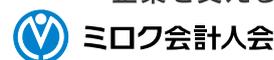
ミロクシステムQ&A  
『所得税確定申告書』……………15

リレーエッセイ  
九州ミロク会計人会 三井 鐘憲……………19

今月の表紙 こうらたいしゃ  
高良大社

撮影:江崎 洋介(九州ミロク会計人会) 場所:福岡県久留米市

日本の未来一  
企業を支える



ミロク会計人会

# 祝 東秀優先生 藍綬褒章受章祝賀会



## 事務所 訪問

### 「バランス」と「わさもん」を軸に 時代ニーズを巧みに捉え続ける

熊本市に事務所を構える東税理士事務所。所長の東 秀優(ひがし ひでまさ)先生は生き方や経営のバランス感覚、そして熊本弁で「新しもの好き」を表す「わさもん」の精神を大切にしながら、地元の中小企業を支援し続けています。早速、東先生にこれまでの歩みと展望を伺いました。

#### マージャンで培った 独自の洞察力と思考力

——趣味のマージャンがこれまでの仕事にも大きな影響を与えてきたそうですが、まずはそのあたりのお話を伺えればと思います。

#### 東秀優所長(以下、敬称略)

私の人生において、マージャンは本当に役に立ちました。現に私は大学卒業後、東京の金融機関に就職したのですが、マージャンのおかげでどんどん人脈を築くことができ、預金獲得の成績でトップになることができました。また、それだけでなく

自分の能力を磨く上でも大いに役立ちました。マージャンは決して運だけで勝てるものではなく、勝つためには相手の表情や卓の状況を正確に分析し、次の一手を打たなければなりません。その訓練を学生時代から社会人に至るまで、真剣にやり続けてきたおかげで、自分なりの洞察力や思考力を磨き上げることができたように思うのです。実際、預金を効率的に獲得するにあたって、その洞察力が役立ちました。同僚たちが立派な家に住んでいる人たちに営業をかけている中、私はアパート暮らしで、これから家を建てるであろう人

## 東税理士事務所

所在地 熊本県熊本市中央区水前寺1-21-47  
TEL 096-383-3600  
FAX 096-383-3678  
設立 1984年  
職員数 50名





4階建てのオフィスビルは、階ごとに季節を設定し、色使いやイラストもそれぞれ独自に施しています



格言集を毎月作成し、顧問先に配布。そして所内にも掲出しています

た。現在は医療関係のみならず、多岐にわたる業種の顧問先と契約を結んでいます。

—— 知縁も大きかったかと思いますが、その他にどのような点が評価されて顧問先の支持を得られたと思いますか。

東 前職で培ったスキルや経験が大きかったのではないでしょう。金融機関出身ということ、融資の申請やその際のポイントを熟知していましたし、自然と金融機関とも良好な関係を構築することができていたので、顧問先してみれば安心感を持ってたのだと思います。

—— 現在、職員数が50名という規模になっていますが、今後さらに拡大を図っていくのでしょうか。

東 自分の目が届く範囲で仕事をしたいと考えているので、現在の規模がちょうど良いと感じています。ちなみに現在には部署ごとに8人くらいの単位の班を設けており、班長会議で事務所の方向付けや課題の共有などを行うようにしています。

—— 事務所の外装や内装が特徴的ですが、どのようなこだわりがあるのでしょうか。

東 5階建てになっており、上から夏、冬、春、秋をイメージしたカラーリングやイラストを施しました。階ごとに各部署を割り当てており、同一業務に関する情報共有などがスムーズに行えるようにしています。

**常にアンテナを立て続け先進的な事務所を目指す**

—— 事務所のモットーについてお聞かせください。

東 当事務所では「バランス」をモットーとしています。世の中には全て二面性があると言われています。例えば、人を育てる際には厳しさと優しさが必要ですし、ピンチがあればチャンスもあり、悲しみと喜び、暑い寒いなど挙げたらきりがありません。そのどちらも大事な要素です。貸借対照表（バランスシ

ト）の作成も我々の重要業務で、良好なバランスがとれるように指導助言しています。だからこそ、事務所経営においても顧問先の支援に関しても、常にバランスを念頭に置くように心がけているのです。

一方、私自身は「わさもん」であり続けることも大切にしていきます。わさもんとは熊本弁でいうところの「新しもの好き」です。時代の変化に対応するために、日々、新しい情報や技術にアンテナを立て、積極的に取り入れるようにしています。

—— 具体的にどのようなことにアンテナを立てていますか。

東 税務会計業務に限らず、テクノロジーの分野にも興味を持つようになっています。例えば私は普段からテスラモーターズ（アメリカ）のモデルSという電気自動車に乗っているのですが、実際に自分で使ってみるとで自動車業界に、産業革命が生じるであろうことを実感しています。乗り心地は抜群だし、加速もガソリン車よりも優れていますし、その上、既に700kmという走行距離を誇るタイプ

も誕生しているわけです。となれば、ガソリン車からシフトしていく可能性が高いので、ガソリン車にしか使用しない部品やサービスを手掛けている中小企業は業態転換を検討する必要があります。顧問先には直接お会いした時や事務所のニュースレターなどを通して、そういったことを私自身の実感も含めて伝えるようにしています。

—— テクノロジーの進化の中で、税務会計業界に対して影響が大きそうなのはありますか。

東 電子証券や電子マネーの普及は業界に多大な影響を及ぼすことでしょう。証券はかつて相続の折に隠し資産として用いられるケースがありましたが、電子化され、現在の所有者が明確にデータ上で管理されるようになると、一切隠し立てができなくなりまりました。もちろん、私たち職業会計人としてはその仕組みをしっかりと理解して、適正な申告に努めなければなりません。電子マネーについては、直近でも課税のことを考える必要が生じています。例えば仮想通貨のビットコインを使用すること



各方面にアンテナを張り、常に最新の情報を集めつつ「バランス」を大事に事務所経営をされている東 秀優先生

で得られた損益は、原則雑所得として取り扱われることになっていますが、こうした状況も普及具合によって変化していくものと思われれます。また、2017年4月には改正資金決済法が施行され、仮想通貨も通貨として正式に認められることになり、相続においては新たなポイントになりました。私たちはそういった変化を注視しつつ、いち早く顧問先に情報提供すると同時に実務の中に反映させていかなければならないのです。

先般、電子政府として知ら

れるエストニアの視察にも行かれたそうですね。

東 日本においても電子化が徐々に進んできたので、その先進事例を学びに行きました。既にエストニアでは全体の99%が電子申告になっており、個人でも申告しやすいので税理士の大

半が職を失い、国際税務など特殊な申告業務を得意とする税理士だけが生き残っているような状況でした。同様の仕組みがそのまま日本でも導入されるとは思いませんが、電子化が進んでいくのは間違いないので、税理

士としてその中でどうやって生き残っていくのかを模索しなければならぬと思います。

**補助金の窓口を設けて震災復興を下支えする**

——2016年に発生した熊本地震の影響はどうでしょうか。

東 熊本地震は多大な被害を及ぼし、その被害総額は3兆7850億円に上るとされています。当然、中小企業への影響も大きく、多くの経営者が依然として資金面で苦勞を強いられています。県は熊本地震で

History & Story  
**税理士までの歩み**

高校時代からマージャンが大好きだったという東先生は、県内有数の進学校を卒業し、関東の大学に入学しました。大学卒業後は東京の金融機関に入社し、マージャンで培った能力をいかに発揮して、優秀な営業成績を上げ続けたそうです。ところが、父上が病気で倒れたのを機に地元に戻ることに。その後、父上は何か持ち直したそうですが、「いざ地元で働こうとしても仕事が見つからず困ってしまった」と東先生。そんな折、父上と同じ病室に税理士が入院していたことを思い出し、「独立して自分も税理士になろう」と思い立ったそうです。以降、先生は会計事務所勤めをしながら試験勉強に励み、1982年に税理士試験に合格。その翌年に地元の八代市で開業しました。

被災した中小事業者の復旧を公費で支援するグループ補助金を用意しているのですが、中小企業の場合、本業のかたわら補助金の情報を収集するのは大変で、まだ中小企業全体にその恩恵が行き渡っていないような状況です。そこで、当事務所ではグループ補助金申請室を設置し、補助金に関する問い合わせを受け付けたり、申請手続きを支援したりすることで、被災した中小企業フォローを行っています。

——同申請室ではご次男が室長を務めているそうですね。

東 はい。彼は高校卒業後、渡英してエディンバラの大学で学び、ロンドンの会計事務所勤務しながら公認会計士試験受験。既に14科目中13科目を合格し、一年前に戻ってきて今では事務所をしっかりと支えてくれています。また、長女も税理士の資格を持っており、長男や、義理の息子も勤務しておりますので、事務所の未来を支えてくれると思います。

——本日はありがとうございます。ますますのご発展をお祈りいたします。

# ミロク会計人会のミリヨク

ミロク会計人会には、さまざまな会員メリットがあります。このコーナーでは毎回、その魅力を詳しくお伝えします。

## 実務に役立つ2つのオンラインセミナーを公開中

ミロク会計人会のホームページは、本会広報委員会の監修のもと、職業会計人の先生方に向けた有用な情報発信を行っています。中でも本会会員限定のコンテンツを多数掲出しており、昨年、新たに「オンラインセミナー」が公開されました。

このコンテンツは本会研修委員会が監修する、MJSシステム「ACELINK NX-Pro」をより活用するための具体的なノウハウについての「実践セミナー」を、オンライン上で視聴できるというものです。研修委員の先生が、税務上の注意点を含め、具体的に解説します。また、使用する資料は研修委員会の監修で作成されているため、単なる操作マニュアルではなく、より実務的な内容になっています。

## 「時間と距離」の制約なく充実した情報を入力

現在公開されているのは、「消費税編」と「法人税編」の2つで、今後も新しい映像が出来上がり次第、随時公開していきます。

本コンテンツはオンラインでの配信を前提に制作された映像なので、講師の方の表情まではつきり分かり、操作画面もお使いのモニター全体に近い大きさで観ることができます。また、ダブルモニターを利用すれば、セミナー画面と同時に事務所でお使いの「ACELINK NX-Pro」の操作画面も確認でき、さらにレジュメも手元に置きながら受講できるので、理解度がより一層深まります。

時間や開催場所の都合で実際のセミナーを受講できなかった方に、ぜひご利用いただきたいと考えています。また、セミナー

の内容を職員全員に共有したいという先生方にとっても、オンラインセミナーを所内研修などで活用いただくことで、「時間と距離」の制約なく事務所全体のスキル向上を図れるのでお勧めです。

なお、コンテンツが公開されているページへのアクセス方法や、ページの中身の説明、映像の視聴方法や資料のダウンロード方法などを記載したガイドブックも、サイト内にご用意しております。ダウンロードや印刷も可能なので、こちらもご利用ください。また、各ページにアンケートのバナーを設置しておりますのでご協力ください。

この有意義な研修動画が見られるのは、本会会員だからこその特権です。より充実した情報を入力できるミロク会計人会への入会を、ぜひご検討ください。



不明な点のある方はガイドブックをご活用ください



クリアな動画と音声で受講することができます



オンラインセミナー各研修のトップ画面  
左側赤枠がアンケートのバナーです

### オンラインセミナーのURL

<https://www.mirokukai.ne.jp/learning/> 会計人会ホームページトップからオンラインセミナーのバナーをクリックすることでアクセスできます！

# 医療法人の最新動向

この10月からの認定医療法人制度の改正で、出資持分あり医療法人から持分なし医療法人への移行に関する要件が緩和されました。また、国が地域包括ケアシステム※の構築を推進する中、診療報酬の改定をはじめとした医療政策への対応、地域特性に沿った体制確立のための他職種連携など、いま全国の医療法人が税制面・経営面で改革を迫られています。その最新動向と課題、展望について『日経ヘルスケア』編集長の村松謙一氏に伺い、後半では多くの医療法人の顧問先を持つ安部経営・会計事務所の所長で、MJS 税経システム研究所の客員研究員でもある安部勝一先生に寄稿いただきました。

## 「インタビュー」

日経BPP社 日経ヘルスケア 編集長 村松 謙一 様

平成30年度の診療報酬改定を前にした医療法人の経営課題

本来の医療需要に応じた病床構成への再編が急務

厚生労働省によれば、2015年度の医療費の総額は42兆3644億円で、9年連続で過去最高を更新しました。医療費と社会保障費の高騰はこの10年で深刻化し、今後もし予高齡化の進展で増加傾向が続くとみられているなか、国は課題解消のためにさまざまな医療政策を打ち出しています。その背景や従来の制度の課題、そしてこれからの医療法人経営のあり方について話したいと思います。

現在の問題といえば病院の過剰な病床数です。特に地方では人口減が加速しているのに、病床数は依然として全国的に高止まりしており、しかもその空床を埋めるために本来なら自宅に戻って生活を送れる高齢者を療養病棟に長期入院させる例も多く、医療費高騰の大きな要因となっています(図1)。

また、いわゆる急性期病棟(7対1一般病棟と10対1一般病棟※1)も増え続けています。プロフィール 1968年生まれ。1991年4月、日経BP社に入社後、日経ヘルスケアを皮切りに、日経ヘルスケア、日経シニアビジネス、日経ヘルスケアなどの編集部を経て、2004年1月より日経ヘルスケア副編集長。その後、日経メディカル副編集長を経て、2013年11月より日経ヘルスケア編集長。医療・介護制度の動向や、病院、診療所、介護施設、在宅介護サービス事業所、高齢者住宅などの経営をテーマに、長年にわたって取材してきた。

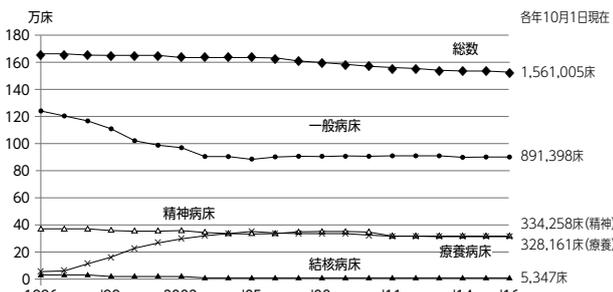
図2をご覧ください。少し前の資料ですが、12年に政府が打ち出した社会保障・税一体改革における「2025年に向けた医療機能再編のイメージ」です。12年時点では7対1一般病棟が35万7569床、療養病棟が21万6653床なのに対し、将来、回復期(亜急性期)の一部を担うと見込まれる13対1一般病棟、15対1一般病棟が少なく、バランスが悪くなっています。そこで国は団塊の世代がいつせいに後期高齢者となる25年に向けて、過剰な急性期病棟と療養病棟を減らし、回復期病棟を増やして

本来の医療需要に応じた病床構成への再編を図っているのです。そのために16年度診療報酬改定で行われたのが「入院医療の機能分化・強化」です。例えば7対1入院基本料について、算定の基準が引き上げられました。本当に急性期病棟で診るのが最適な患者層になっていくかを計る指標を厳格化したもので、「急性期病棟でいたいなら、その存在意義通り重症患者をしかるべく入院させてください」というメッセージが込められています。次の改定でどうなるかは厚生労働省が検討中(17年末現在)ですが、その検討会で7対1病棟と10対1病棟の入院基本料を統合し、重症患者をどのくらい診ているかの実績で段階的に評価しようという案が出ています。これは医療法人の経営者にとっ

てはショックな改定内容です。急性期病棟は常に多くの重症患者を受け入れる体制を整えねばならず、そのために他の病院と連携したり、地域の介護施設などと常日頃からコミュニケーションをとっておいったり、そういう経営戦略を考える必要

※地域包括ケアシステム：地域住民が重度な要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される仕組み。政府は団塊の世代が75歳以上となる2025年に向け、全国各地でのシステム構築を推進している。市町村や都道府県が地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要とされる。

図1 病床種類別の病院病床数の推移

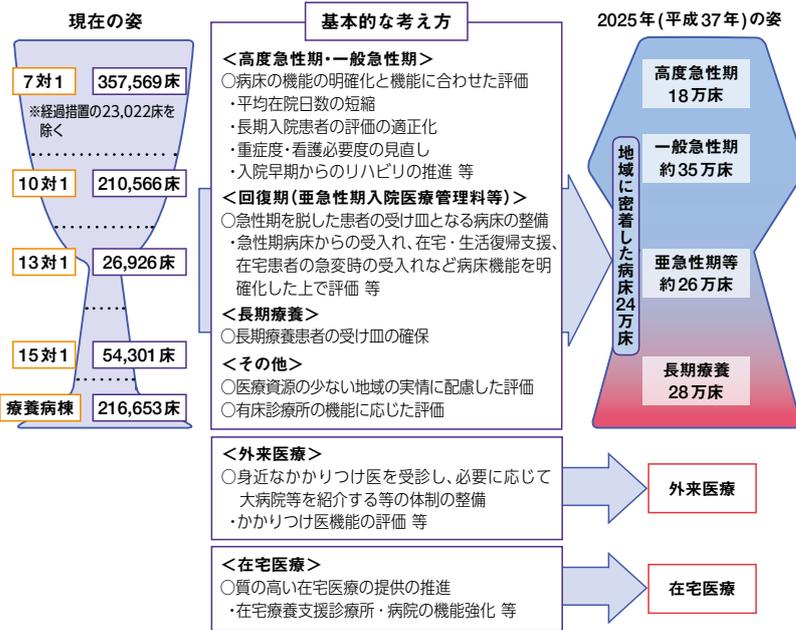


出典：2016年医療施設(動態)調査・病院報告

※1 [〇対〇一般病棟]：看護配置の割合による病棟の分類。患者に対して看護師を7対1の割合で配置している病棟が「7対1一般病棟」。

図2 2025年に向けた医療機能再編のイメージ

「次期診療報酬改定における社会保障・税一体改革関連の基本的な考え方」(概要)



出典:2014年度診療報酬改定について(厚生労働省保険局)

に迫られることとなります。

**地域包括ケアシステムに  
自院の経営戦略をシフト**

では急性期病棟をどのように回復期病棟に変えればいいのかというところ、その一部を地域包括ケア病棟に転換することが推奨されており、診療報酬も相応に高く設定されています。これは患者が急性期から徐々に回復し、リハビリを経て在宅に戻る過程で重要な役割を担う病棟で

あり、地域包括ケアシステムの構築に欠かせない存在です。14年に創設されて以来、当初は2万4000床だったのがいまや全国で6万床にまで増えました。一部の病院は、国が推進する地域包括ケアシステムの実現に向けて、積極的にケアミックス化を進めています。地域包括ケア病棟を設置するだけでなく、院外に高齢者住宅などを用意して、急性期、回復期を経た患者の受け入れ体制を整え、さらに

自宅への訪問診療・介護にも力を入れているのです。これからの医療法人の課題は、いかに国が目指す地域包括ケアシステムに自院の経営戦略をシフトさせるかということになるでしょう。

続いて、病院よりも規模の小さい「診療所」の経営環境についてお話しします。その大半を占める無床診療所は、言うまでもなく外来収入が生命線です。しかし、①高齢化率の上昇と若年層の減少による外来医療需要の減少②競合する一般診療所の増加③中小病院の外来医療・在宅医療へのシフトによる競争激化④高齢者の窓口負担額の引き上げによる高齢患者の受診抑制——といった要因から、今後、外来患者はより確保しにくくなっていくと思われま

**医療データ分析による  
戦略的な医療法人経営**

もう一点、これからの医療法人経営のあり方に関わる制度についても触れておきたいと思えます。厚生労働省が14年から始めた病床機能報告制度がそれです。これは全国の全ての病院に、自院の医療機能の現状と方向性を都道府県に報告させるというもの。さらに地域医療構想に基づき、医療機関の役割を、地域の医療ニーズや経営体制などの実態に即したものと見直し、いこうというのが、厚労省の目論みです。

行為の全体像は見えにくかったのですが、現在ではさまざまなデータを集計することで実態がかなり把握しやすくなりました。例えば、全国統一形式の患者臨床情報と診療行為の電子データセットである「DPC(Diagnosis Procedure Combination) データ」。これはある病気の患者にどのような診療を行ったかを事細かに入力するものなので、集計すれば医療法人の医療行為と経営の実態が丸裸になります。これからの時代は、病床機能報告とこうしたデータによって、各地域における医療機関の役割や立ち位置がおのずと定められていくことになるでしょう。

然、従来どおり外来診療をただ続けているだけでは、いざれ患者は減少に転じることになります。患者減少が表面化し、深刻になる前に診療体制や診療内容を見直し、患者に選ばれる診療所になっておかねばなりません。診療所が生き残っていくためには、たとえば①病院との連携

かつては、病院における医療

もちろん、病院側も自院のデータを経営に積極的に生かしていかねばなりません。将来的に地域の医療ニーズがどう変わっていくか、コンペティターの病院の強みと弱みは何かといった分析を行うことで、自院の担うべきことや特性を把握して得意分野に力を入れ、他の医療機関とWin-Winの連携を構築していく。そういった戦略を立てることが求められるのです。

※2 地域包括診療科・加算・算定する際に主治医として包括的な診療を行うことについて患者の同意を得る。実質的には1医療機関がこの報酬を算定するようになっており、患者の定着、継続的な受診を期待できる。



1983年に税理士登録し、翌年安部経営・会計事務所を設立。99年、MJS税経システム研究所発足時より客員研究員(医療部会)。主な著書に『医療法人制度Q&A 一第7次医療法改正への実務対応』『「出資持分なし」医療法人への移行に関する指図書』『開業医・医療法人税務調査対策の指図書』『医療会計・税務の指図書』(いずれも税務経理協会)。

医療法人は、「営利を目的としない」法人として医療法に位置付けられています。現在、第7次医療法改正が施行されていますが、5年ごとに検討を加え必要な措置を講じることになっています。ここで、税制について医療法人の特異性から、相談の多い事例をピックアップして紹介し、次に厚生労働省が金科玉条としている医療法第54条(剰余金の配当禁止)を堅守したいことから推進している、「出資持分なし」への移行推奨についての対策を記述します。

また、医師が自分で会社をつくって給料をとる、という形態も見受けられます。もともと医療機関の開設者(医師)でないと、保険請求できません。医師でない人が医師を雇って診療させ、医師に給料を払う、というのは認められないこととなります。所得税法に「実質所得者課税の原則」がありますが、そもそも医療法上で認められていけませんのでご注意ください。当該ケースは税法が全てに対して優先するという誤った理解から生じると考えます。

また、医師が自分で会社をつくって給料をとる、という形態も見受けられます。もともと医療機関の開設者(医師)でないと、保険請求できません。医師でない人が医師を雇って診療させ、医師に給料を払う、というのは認められないこととなります。所得税法に「実質所得者課税の原則」がありますが、そもそも医療法上で認められていけませんのでご注意ください。当該ケースは税法が全てに対して優先するという誤った理解から生じると考えます。

また、医師が自分で会社をつくって給料をとる、という形態も見受けられます。もともと医療機関の開設者(医師)でないと、保険請求できません。医師でない人が医師を雇って診療させ、医師に給料を払う、というのは認められないこととなります。所得税法に「実質所得者課税の原則」がありますが、そもそも医療法上で認められていけませんのでご注意ください。当該ケースは税法が全てに対して優先するという誤った理解から生じると考えます。

また、医師が自分で会社をつくって給料をとる、という形態も見受けられます。もともと医療機関の開設者(医師)でないと、保険請求できません。医師でない人が医師を雇って診療させ、医師に給料を払う、というのは認められないこととなります。所得税法に「実質所得者課税の原則」がありますが、そもそも医療法上で認められていけませんのでご注意ください。当該ケースは税法が全てに対して優先するという誤った理解から生じると考えます。

## 1. 医療法人の運営上、税制面で押さえておきたいポイント

### ●医療機関の開設者の確認

最近、指導および監査で厚生労働省が目光らせていることがあります。医師でない人が医師を雇って診療させ、医師に給料を払っているというケースで

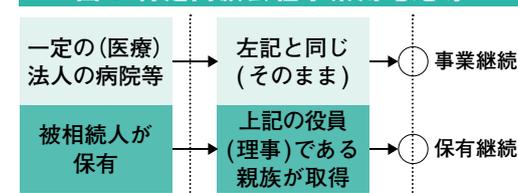
### ●別表二の提出は不要

別表二は「同族会社等の判定に関する明細書」であり、医療法人は会社に該当しないことから不要となります。

### ●特定同族会社事業用宅地等(医療法人への適用は注意を要す)

特定同族会社事業用宅地等(医療法人への適用は注意を要す)

図1 特定同族会社事業用宅地等



出資持分ありの場合  
・特定同族会社事業用宅地等の対象  
・特定同族会社事業用宅地等の対象

出資持分なしの場合  
(医療法人に敷地賃貸)  
・貸付事業用宅地等の対象  
・貸付事業用宅地等の対象

### る(措法69の4③三)(図1)

制度の趣旨から被相続人である医療法人理事長の所有地に医療法人所有の病院などが建っている場合、その土地は「特定同族会社事業用宅地等」に該当すると考えられます。しかし、出資持分の定めのない医療法人が事業を行っている医療法人理事長の所有地については、もともと「出資持分」がありません。ですから、本件適用はありません。

### ●医療機関についてのみ適用がある減価償却

医療用機器のうち、MRIなどはあるでしょうか。すなわち医療用機器は「機械および器具」と読むのでしょうか。医療用機器はもともと全て、有形減価償却資産のうち、器具備品の括りとなっています。よって右記MRI等の装置は「機械および器具」の範囲(括り)には該当しないことと料します。

医師への報酬が給与か(外注)委託費か——最近多い相談例  
この判断をする場合に、医療

## 2. 持分ありから持分なしへの移行の促進

「厚生省は省のスタート以来、医療について一貫して非営利の理念を貫いてきた。医療については非営利の理念を修正することは、厚生省の存在そのもの否定につながり容認できない」としています。(厚生省審議官談)

### ●出資持分なしへ移行促進の意図

厚生労働省としては、医療法



# ご当地 自慢



## 熊本県・天草下島

九州南西部に位置し、有明海、八代海、東シナ海と3つの海域に囲まれ、大小約120の島々で構成されている天草諸島。豊富な海の幸や自然が生み出す絶景、通年楽しめるイルカウォッチング、国内陶磁器原料の大部分を占める天草陶石、そして世界文化遺産候補の構成遺産として話題を集める崎津集落など、この島々には魅力的な地域資源が満ち溢れています。そんな宝島、天草の中心である天草下島を、ご案内いたします。



### ご案内人



福岡 耕二 所長  
福岡耕二税理士事務所

### 島民の年貢負担軽減に 命をかけた「鈴木さま」

天草にお越しいただくには、「日本一小さい航空会社」として知られる天草エアラインがオススメです。48人乗りの飛行機1機で天草と福岡、熊本、大阪をつなぎ、福岡方面から陸路で約4時間かかる距離を35分で移



①



②

①「みぞか号」の愛称で親しまれる天草エアラインの機体  
②鈴木神社

動できるとあって、地元住民・

観光客に重宝されています。そのイルカをモチーフにしたかわいらしいプロペラ機(①)で天

草空港に降り立つたら、まずは空港にほど近い鈴木神社にお参りに行きましょう(②)。島外

での知名度は低いかもしれませんが、ここには天草史における、そして日本の税制史におけ

る、そして日本の税制史にお

る重要人物「鈴木さま」が祀ら

れています。「鈴木さま」とは天草初代代官の鈴木重成公のこ

と。島民の年貢負担軽減に尽力し、最終的には切腹という形で

自己を犠牲にした人物なのです。かの島原・天草一揆の後、幕

府直轄の天領となった天草の代官として同地の乱後処理と復興を果たすのが、彼の使命でし

た。乱によって天草では労働力が激減し、田畑は荒れ、統治体制もガタガタに崩れてしまった

だけでなく、島民は折からの重い年貢に苦しんでいたといいま

す。同神社の15代目官司を務める田口孝雄氏(③)によれば、

「天草は耕地が少ないため、当時の生産高は2万石程度だった

にもかかわらず、唐津藩はこれを4万2000石と試算してい

ました」とのこと。実際の生産

高の2倍以上という過大な石高

が課税標準とされてしまい、そこに四公六民<sup>※1</sup>の年貢が課され、

さらには飢饉も重なったわけですから、島民の窮状は想像を絶

するものだったことでしょう。重成公は島民のこうした状況

に同情し、その生活を再建することに尽力。そのかいあって

徐々に人口が増え、収穫も上がっていききました。が、相変わらず

石高が過大評価されている状況は変わらず、島民の生活水準

はなかなか向上しませんでした。そこで重成公は実際には2万石

程度がやつとだという調査結果を携え、勘定奉行に石高の大幅

軽減を陳情。しかし、前例がないからとまともに取り合っても

らえず、江戸にまで出向いて直談判しても事は同様だったそうです。そして、策窮した重成公

が悲壮な決意とともに断行した

のが「自刃」という最後の手段でした。この命を投げ打っての

訴えが幕府を震撼させます。当初こそ「お上の威光にかかわる」

というので内々に病死で済ませられたものの、6年後、重成公

の甥であった鈴木重辰公が2代目代官を務めている時代に、松

平伊豆守と阿部豊後守の証文で天草の石高を半減させる旨の通

知が届きました。重成公の悲願が実り、ついに島民は不当な重

税から解放されたのです。島民は自分たちのために命を

かけた重成公を敬い、各村々で石の祠を築いて公を祀りまし

た。その中でも、東向寺の住職が公の遺髪を埋めて供養した本

村(現・天草市本町)の祠が、鈴木神社の発祥となったそうです。1778年には、本村の鈴

※1 収穫の4割が年貢で6割が生産者の取り分

※2 鈴木家の長兄で42歳のとき出家、天草でも政策顧問として重成公を助けた



7



5



3



8



6



4

⑦天草陶石の原石  
⑧人気の「海松紋」シリーズ

⑤教会入口のすぐ近くにある築80年以上の元旅館「みなど屋」をリノベーションした資料館も昨年オープン  
⑥網の補修や魚を干すために利用される漁業作業場「カケ」

③15代目宮司の田口氏は、天草文化協会の会長も務めている  
④海から見た崎津教会。現在の建物は1934年、フランス人宣教師ハルブ神父の時代に建てられたもの

### 世界文化遺産候補の崎津集落を歩く

木神社に正三公しょうこう、重辰公も合祀して「鈴木三神」とし、記念大祭が開かれました。「重成公は1000石以下のいわば中間管理職者。にもかかわらず、死後こんなに短期間で祀られたことから、彼がいかに島民のために尽くし、島民に慕われていたかが伝わってきます」と田口氏。島民にとってはもとより、税務に携わる私たちにとって、年貢負担軽減に尽力した鈴木さまは非常にありがたい存在。天草を訪れた際にはぜひ鈴木木神社にお参りしてほしいと思います。

続いて島中央部の山間を抜けて南下し、世界文化遺産候補「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産である崎津集落へ。静かな漁村のシンボルはなんととっても崎津教会(④)。尖塔の上に十字架を掲げた重厚なゴシック様式で、堂内は国内でも珍しい畳敷きになっています。この教会は、天草のキリシタン史における重大事件「天草崩れ」の後、明治に

なって禁教令が廃止されて程なく建設されました。「天草崩れ」とは、厳しい禁教令下、多くのキリシタンたちが仏教徒のふりをして潜伏する中、「牛を殺してその肉を仏壇に供える」という仏教にはない習慣が露見したことで大規模な取り調べが行われ、崎津集落を含む4村で合計5000人を超える信者の存在が発覚した事件です。本来打ち首、獄門となるはずですが、役人の配慮で「心得違い」として誰一人処刑されなかったといえます。こうしたエピソードからも、重成公と同様「中間管理職者」として土地を治めた者の島民を思う気持ちや責任感の強さがうかがえると思います。

ところで2011年、崎津集落はその独特な漁村景観が国の重要な文化的景観に選定されました。集落を歩けば、海と急峻な山地に挟まれたこの地区ならではの、海の上にせり出すような漁業作業場「カケ(⑥)」や、各戸から船着き場へと向かうための狭い路地「トイヤ」など、古くからの漁村文化を思わせるスポットが随所にあります。

### 日本の陶磁器文化を支える天草陶石の歴史

さて、お次は天草の誇る特産品を紹介したいと思います。皆さんは、天草が質、量ともに日本一の陶石の産地であることをご存知でしょうか。「天草陶石」は17世紀に発見されて以降、全国的に知られるようになり、現在でも有田や瀬戸などの白磁原料として使われています(⑦)。今回は島内に点在する多数の窯元の中でも、最高級と言われる「高浜焼 寿芳窯」を訪ねました。天草下島西部に位置するこの窯元の歴史は古く、1762年、上田家6代目の上田伝五右衛門が陶工山道喜右衛門を肥前から招き、村民に窯業を習得させ、開窯したのが始まりだそうです。陶磁器を作る際には乾燥や焼成をしやすいするため、陶石のほかにケイ石や長石といった材料を混ぜるのが普通ですが、同窯の特徴は鉄分をほとんど含まない、純度の極めて高い天草陶石だけを素材としてのこと。同窯の運営と陶石採掘業を手掛ける上田陶石合資会社の岩下邦

の窯元は古く、1762年、上田家6代目の上田伝五右衛門が陶工山道喜右衛門を肥前から招き、村民に窯業を習得させ、開窯したのが始まりだそうです。陶磁器を作る際には乾燥や焼成をしやすいため、陶石のほかにケイ石や長石といった材料を混ぜるのが普通ですが、同窯の特徴は鉄分をほとんど含まない、純度の極めて高い天草陶石だけを素材としてのこと。同窯の運営と陶石採掘業を手掛ける上田陶石合資会社の岩下邦



13



11



9



14



12



10

⑬数ある西海岸の絶景スポットの一つ、妙見浦からの夕景 ⑭イルカウォッチングの様子

⑪春に旬を迎えるムラサキウニが絶品！ ⑫肉厚でプリプリ、秋が旬のアワビ。9月から11月にかけて、島内の宿泊施設では「天草五和アワビ祭り」が実施される

⑨上田家の屋敷。与謝野鉄幹・晶子夫妻も宿泊したことがあるとか

⑩天草の海の幸たっぷりの伊勢海老御膳(一部)

伊勢えびをはじめとする  
絶品の天草グルメを食す

ここまでで、ちょうど空港から時計回りに天草下島をぐるりと半周してきました。お腹が空いてきたところで訪ねたのは、下田温泉の望洋閣。この老舗ホ

明所長によると、そうすること  
で「硬くて緻密、透明感のある  
白が表現できる」そうです。  
そんな高浜焼の中でも近年特  
に人気なのが、約250年前の  
原画をもとに復刻した「海松紋」  
シリーズ(⑧)。島の海藻をモ  
チーフとしたデザインは古さを  
まったく感じさせず、全国にた  
くさんのファンを抱えています。  
ぜひギャラリーショップで、そ  
の高浜焼ならではの「白」や洗  
練された絵柄を直接見てほしい  
と思います。また、ショップの  
すぐ近くには、かつて庄屋だっ  
た高浜焼創始者・上田家の屋敷  
が現在も残っており、内部の資  
料館を見学することができます  
(⑨)。古文書や数多くの陶磁器  
を展示しているので、こちらに  
も立ち寄って天草陶石の歴史と  
文化を学んでみましょう。

テルは、島内の宿泊施設で毎年  
8月下旬から12月下旬にかけて  
実施されている「天草伊勢えび  
祭り」に参加しています。ゆっ  
たりと温泉につかった後で食べ  
る伊勢えび料理は最高です。  
というわけで、同館の伊勢え  
び御膳のメニューを紹介しま  
(⑩)。この日のお造りはタチウ  
オ、ブリ、タイ、ヒオウギ貝、  
キビナゴ、マグロなど旬の地魚  
が勢揃い、その横にはもちろん  
伊勢海老。堂々たる風格の頭は、  
後でダシの旨みがなんともいえ  
ない味噌汁となって再登場しま  
す。そのほか伊勢海老の洋風グ  
リル、5時間煮込んだタイのア  
ラのダシをしっかりとうどんに染  
み込ませた郷土料理「鯛麺」と  
鯛釜飯、地鶏「天草大王」ハ  
ブオリーブ蒸しなど、いずれも  
美味。天草ではこの伊勢海老の  
他、春のムラサキウニと夏のア  
カウニ、秋のアワビなど、春夏  
秋冬いつ訪れてもおいしい旬の  
海の幸が味わえます(⑪⑫)。

最後に紹介したいのが、世界  
的に有名な天草のイルカウォッ  
チング。天草下島の北端に位置  
する通詞島の沖合にはエサとな  
る魚が多く、かつ天敵もいない  
ため、約200頭もの野生のミ  
ナミハンドウイルカが群れをな  
して暮らしています。出航から  
数分ではば確実に野生の群れに  
出会えると評判です(⑭)。

駆け足ではありましたが空港  
からぐるりと時計回りに天草下  
島を一周しながら、天草ならで  
はの観光名所や文化史跡、特産  
品、アクティビティーなどを紹  
介してきました。その地域資源  
の豊富さから「宝島」とも言わ  
れる天草の魅力はまだまだ尽き  
ません。ぜひ直接お出でになっ  
て、ゆっくり島巡りを楽しんで  
みてください。

わずか4年で28店舗が出店

## 油津商店街の再生物語

人通りもまばらなシャッター通りから見事に再生を果たした宮崎県日南市の油津商店街。(株)油津応援団の専務取締役で日南市・油津商店街の元テナントミックスサポーターマネージャー、木藤亮太氏に商店街再生の経緯と今後の展望について伺いました。

## インタビュー

(株)油津応援団 専務取締役 木藤 亮太氏

ミッションは4年間で商店街に20店舗を誘致すること

宮崎県の日南市は、県南部に位置する人口5万3000人(2016年10月1日現在)の街で、リアス式の海岸線を有し、<sup>おびすぎ</sup> 鉄肥杉の産地としても有名です。とりわけ油津港は江戸時代から鉄肥杉の積み出し港として、ま



木藤 亮太氏 ©(株)油津応援団

た東洋一のマグロ基地として栄えてきました。そして、そのお膝元にある油津商店街は昭和40年頃までは飲食店、米屋、八百屋など80店舗以上が立ち並び、繁栄を極めていたそうです。その後、港の水揚げ高の減少や郊外店の誕生などで、多くの地方都市の商店街と同じように、人通りの寂しいシャッター通りになってしまったのです。

そこで2013年、崎田恭平氏が33歳の若さで市長に初当選すると、その4カ月後に地域再生請負人の全国公募を皮切りに「油津商店街再生プロジェクト」がスタートしました。当時、私

は福岡市でまちづくりに関する企画・計画、空間デザインなどの環境設計コンサルティング会社で働いていましたが、現地に4年間住みこんで仕事をするという公募内容に魅力を感じ、応募しました。役職名は日南市油津商店街テナントミックスサポーターマネージャーというもので、13年7月の就任と同時に日南市に家族と一緒に移住しました。任期は4年間で、成果目標は在任中に20店舗のテナントを誘致するという具体的なものでした。

官民が連携することで多彩なテナントの誘致に成功

同職に就任した最初の年は、地元の方々との信頼関係やコミュニティづくりに全力を注ぎました。方々に出かけて多くの人たちと知り合い、それぞれの考

え方や商店街の現状把握に努めました。それから商店街の空き店舗を利用し、市民が集える多世代コミュニティスペースをオープン。「まずは地域住民にこの商店街の魅力を知ってもらおう」とボウリング大会やファッシュショー、手作りの「お化け屋敷」などのイベントを次々に開催しました。特に印象的だったのは、かつての夏の行事「土曜夜市」を地元の高校生と一緒に20年ぶりに復活させたことです。高校生たちに地域活動の企画・運営の楽しさを経験してもらえたのはもちろん、商店街の大人たちのモチベーションも高まり、再生事業に弾みがつきました。

任期2年目に入ると、私は(株)油津応援団を立ち上げ、そのキックオフ事業として14年4月に商店街のアー



昭和40年頃の油津商店街。店舗数は80軒以上で、道行く大勢の人々にぎやかだった ©(株)油津応援団

## 油津商店街

油津港と油津駅の間で3つの商店街で構成されている。長さは400mほどで、その半分にアーケードがかかっている。独自の空き店舗対策を実施したことで注目され、2016年には中小企業庁の「はばたく商店街30選」に選出された。

ケードの入口にコーヒーショップ「ABURATSU COFFEE(アブラツコーヒー)」を開業しました。かつて市民に愛されていた喫茶店を外装はそのままリノベーションしたこの店舗は、行政主導ではない民間主体の事業として注目され、市民から一口約30万円の「応援」の出資が集まり始め、現在までに1700万円に上り



IT企業のサテライトオフィス  
©(株)油津応援団



2014年11月にオープンした「ABURATSU COFFEE」。幅広い年代が集う交流の拠点になっている  
©(株)油津応援団



空き地と空き店舗が目立つ4年前の油津商店街  
©(株)油津応援団



大学生によって開業したゲストハウス  
©(株)油津応援団



若者たちからの人気を集める「あぶらつ食堂」(右)と「油津Yotten」(建築設計:水上哲也建築設計事務所/写真:鈴木研一) ©多世代交流モール



2015年11月、商店街の中心部にオープンした多世代交流モール「油津Yotten」。スーパーマーケット跡地に建てられた ©(株)油津応援団

ます。以降、当社はこのコーヒ  
ーショップを拠点に地域活動や  
交流、そしてテナント誘致を推  
進していきました。  
テナント誘致に関しては、地  
域住民と一丸となって進めてい  
きました。商店街のメンバーや  
不動産オーナーたちと話し合い、  
空き店舗をさまざまな用途で柔  
軟に活用できるように取り決め  
ていったのです。結果、地元豆  
腐店による料理店、大学生によ  
るゲストハウスの他、屋台村や  
コンテナ店舗など、ユニークな  
店舗が次々と誕生していきまし  
た。さらに、私は商店街周辺の  
人口や雇用の増加につなげたい  
と考え、日南市のマーケットイン  
グ専門官と協働し、企業などの  
誘致にも着手しました。すると  
油津商店街のレトロな雰囲気や  
盛り上がりなどが評価され、IT  
企業など8社のサテライトオフ  
イスや保育園などを誘致するこ  
とができました。おかげで最終  
的には4年間で、合計28社・店  
舗の誘致に成功し、当初の目標  
を達成することができたのです。  
多くの店舗や企業が誕生したこ  
とで商店街には活気が生まれ、

それによってさらに域外からの  
若者の移住者や30歳代を中心と  
したUターン者が増えてきてい  
ます。  
目標達成に甘んじることなく  
新たな施策にも取り組む  
このように再生事業を進める  
ことができたのは、何よりも地  
域住民のおかげだと思えます。  
行政主導の事業でありながらも、  
多くの地域住民が積極的に再生  
事業に参加してくれたからこそ、  
スムーズに事を運ぶことができ  
たのです。現には私はいわば、よ  
そものですが、地域住民から  
すんなり受け入れてもらえまし  
たし、多くの人たちが私の話に  
真剣に耳を傾けてくれました。  
もともと油津は港であり、外部  
の人・モノの往来が盛んな場所  
であるため、地域住民にそうい  
った懐の深さがあったのかもし  
れません。  
とはいえ、それでも日南市の  
人口は毎年700人ずつ減少し  
ているので、これからがまさに  
正念場です。いかにこうした取  
り組みを継続し、世代交代を進  
めていくかが重要になってきま

す。世代交代という点では、時  
代とともに商店街のあり方を  
変えていくことも肝要です。単に  
昔ながらの商店街にノスタルジ  
ーな雰囲気を残すだけではなく、  
適切なスピードで新陳代謝を  
図り、現代のニーズや社会課題に  
マッチした店舗や企業を誘致し  
ていかなければなりません。ま  
た、折しも数年前から油津港が  
大型クルーズ船の寄港地になり、  
年間7万8000人も外国人  
旅行者が上陸しているのです、今  
後はインバウンド客をいかに呼  
び込み、経済効果につなげてい  
くかということも考えていかな  
ければなりません。  
既に私の任期は終了していま  
すが、油津商店街との関係はま  
だ続いています。福岡県那珂川  
町で事業間連携専門官として自  
分の生まれ育ったまちのまちづ  
くり支援事業に携わりながら、  
月の1/3は油津商店街へ行き、  
カフェや屋台などの事業運営や  
アドバイザー役を引き受けてい  
るのです。これからも油津の人  
たちと一緒にこの地域の未来を  
切り開いていきたいと思ってい  
ます。



九州ミロク会計人会

佐賀県伊万里市 三井 鐘憲

## 「山の二刀流」



白馬三山の雄大な姿



唐松岳を登頂した際の記念の一枚

約10年前、子どもたちもそれぞれ家を離れ、家内との二人きりの生活が始まった。今までは子どもがいたから何かと彼ら中心だったのが、さていなくなつてやっと自由が謳歌できると思ったのはよかったが、何かぼかんと穴が空いたような寂しさも同時に訪れた。

今までは趣味のテニスやゴルフで余暇を楽しんできたが、これからは家内と二人で楽しめるようなことを見つけないければと考え、思い立ったのがもともと旅好きで特に山(登るのではなく)が好きだったので、流行の日本百名山を観賞(写真撮影)しようということだった。一回

の行程(2泊3日)で効率よく観賞すべく、北海道の山々より開始した。しかしながら、そこは自然が相手なので快晴の日ばかりとは限らず、雨や霧といった日もあったけれども、それはそれなりに趣があった。

東北から北関東、甲州と順調に推移し、いざ日本の屋根である日本アルプスへと移ってきて南中央。そして一昨年の10月半ば頃、日本の山岳リゾートのハイルイトである北アルプスに来たとき、大きな変化が生じてしまった。白馬岳しろうまだけ——この山を見たときに、その壮大なスケールと美しさに魅了されてしまい、登ってみたい!と。今まで百

名山のうち既に60以上見てきたが、登ってみたいと思つたのは初めてだった。なにぶん登山は素人で、まさに流行の中高年の登山である。

いろいろな調べてみると、いきなり白馬岳は無謀のようで、白馬岳の近くの唐松岳であれば登山道の整備具合や登りやすさが初心者向きだと分かったので、まずはこちらに挑戦することにした。

翌年7月、周囲の反対を押し切り法人の決算を早めに終わらせ、一人チャレンジした。この日のために九州の九重山くじゅうさんなど、いくつかの山で登山の練習も行ってきた。九州を出発して2泊3日の強行スケジュールではあったが、唐松岳へ、往復8時間かけ、日帰り登頂することができた。途中きつかったが、山頂へたどり着いたときの達成感やテレビや雑誌で取り上げられているとおり、素晴らしいものであった。今年は必ず白馬岳へ登る!

本来の写真を撮るという目的が一時的に中断してしまつたが、野球の大谷選手ではないが山に関しての二刀流でいこうと誓つたところである。

### 表紙の写真



「高良大社(こうらいいしゃ)」(福岡県久留米市)

筑後川を擁する福岡県久留米市の市街地の東方に高良山はあり、「川はおふくろ、高良はおやじ」と郷土に親しまれ仰がれています。その山腹に高良玉垂命(こうらたまたれのみこと)を主祭神とする筑後の国一宮の高良大社があります。この高良大社は、10月に平成の大修理屋根の葺き替えが終わり、九州最大の神社建築といわれる社殿も、ご神威がますます強くなったように見えます。ここのご利益は、厄除け・延命長寿・交通安全をはじめ生活全般にわたりお守りくださいます。(江崎 洋介)

## 税理士事務所 CHANNEL 438号

発行 株式会社ミロク情報サービス  
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-29-1  
TEL. 03-5361-6309(経営企画・広報IRグループ)

発行人 是枝周樹

編集企画 ミロク会計人会連合会広報委員会  
ミロク会計人会事務局、経営企画・広報IRグループ

監修 ミロク会計人会連合会広報委員会

配信制作 東方通信社

印刷 耕文社

### CHANNELのロゴのコンセプト

「N」に動きと色をつけることで、ニュース性・情報性・会員同士のネットワークを表現。また、「N」の色のゴールドは、会員先生や顧問先様の輝かしい未来を表現しています。

※本誌に掲載されている会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。禁無断転載

Orchestrating a brighter world

NEC

停電は、  
ある日突然、  
ビジネスを止める。



## NECのサーバは、 停電時でも、システムを安全に守る。

停電や瞬電などの電源トラブルにより、サーバ内のデータが消失するリスクがあります。NECのスリムサーバは、新開発の小型UPS(無停電電源装置)を内蔵。万一の際に、システムを安全に終了させて、企業のサーバデータ消失リスクを未然に防ぎます。

5年\*2長寿命小型バッテリー    UPS管理ソフトウェア不要



### New! Express5800 スリムサーバ

Express5800/T110i-S (UPS内蔵モデルの場合)

OS 付き 希望小売価格 **¥416,400** (税別) ~  
OS: 最新のWindows Server® 2016をインストール済  
本体: インテル® Pentium® プロセッサ G4560、  
メモリ: 4GB、HDD: 500GB、3.5型ケージ、DVD-ROM、  
電源ユニット、内蔵バッテリーオプションの最小構成

OS レス 希望小売価格 **¥226,000** (税別) ~  
本体: インテル® Pentium® プロセッサ G4560、  
メモリ: 4GB、3.5型ケージ、DVD-ROM、  
電源ユニット、内蔵バッテリーオプションの最小構成  
HDDレス

■CPU: インテル® Pentium® プロセッサ G4560 (3.50GHz) x1    インテル® Xeon® プロセッサ E3-1220v6 (3GHz) x1    \*その他のCPUのラインナップもあり  
■メモリ: セレクタブル(最大64GB、ECC付きDDR4-2400 Unbuffered DIMM)    ■ドライブベイ: ドライブレス (2.5型: SATA HDD最大12TB、SAS HDD最大10.8TB、SATA SSD最大9.6TB、SAS SSD最大2.4TB、3.5型: SATA HDD最大20TB、2.5型/3.5型混在: SATA HDD最大24TB、SATA+SAS HDD最大23.6TB)    \*3年翌日オンサイト保守/3年パーツ保証    \*水冷モデルもあり

Express5800 スリムサーバに関するお問い合わせは    ファーストコンタクトセンター **03-3455-5800**    受付時間: 月~金(祝日を除く) 9:00~12:00 13:00~17:00    Express5800 twitter 公式アカウント @NEC\_Exp58\_PR

Express5800シリーズ お得なモデルのご購入はコチラから ▶ 詳しくは「得選街」 [www.nec.co.jp/store/sv/](http://www.nec.co.jp/store/sv/)

\*1: 30℃環境の場合。 ※Intel、インテル、Intelロゴ、Intel Inside、Intel Insideロゴ、Pentium、Pentium Inside、Xeon、Xeon Insideは、アメリカ合衆国および/またはその他の国におけるIntel Corporationの商標です。 ※本広告に登場する製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

Microsoft

Windows Server  
ビジネスにパワーを

※Microsoft、Windows、Windows Serverは、  
米国Microsoft Corporationの米国および  
その他の国における登録商標および商標です。